

平成 21 年度卒業論文・卒業研究題目

人間科学

| 氏 名 | 題 目 |
|-------|--|
| 浅井 浩介 | 岡田利規の演劇構造 |
| 畑 中 啓 | 映画『麦の穂を揺らす風』のテキスト分析 |
| 池野 悠希 | 合成音声と著作権 |
| 島村 和樹 | 逆行する美術館史 |
| 内 貴 悠 | テクノロジーに先導される音楽体験の質的变化 —音楽体験の「動物化」とその可能性— |
| 西尾 直人 | ニーチェにおけるニヒリズム, 永遠回帰と運命愛 |
| 平山 壮人 | ブランドの変容と消費者 |
| 松井 佑樹 | 現代における「老い」の認識について |
| 村上 祐子 | 精神分析的観点から見たチャネリング |
| 青田 佳子 | 現代女性における化粧についての精神分析的考察 |
| 飯野 顕志 | 商店街と高等学校の連携によるコミュニティの「共育」機能創造の試み |
| 磯谷 知希 | 関係の連続性と不連続性を生み出す要因 —「他者に対する構え」という視点から— |
| 上田 壮志 | ネット社会における検索様式の変容 |
| ト部 宏樹 | 意欲を支えるものは何か —〈教えるもの〉と〈教えられるもの〉の関係性からの考察— |
| 大西 美幸 | 大道芸と文化創造都市 —新たなアートとしての大道芸— |
| 河合 直樹 | 高校数学教科書の言説分析研究 —学習者の「主体化」に向けた教科再編への提言 |
| 川端 千裕 | 近代の普遍主義と贈与交換論 —プロパテント政策による科学と市場の関係の変化— |
| 北村 教行 | ベンサムにおける私的倫理と功利性の原理 |
| 後藤 直樹 | 見田 宗介論 —ニヒリズムとエゴイズム, その超克の軌跡— |
| 権 絵理加 | 「自分」の変化プロセスとアイデンティティ —今を生きる人々の語りから— |
| 佐藤 慧太 | 社会に点在する異様な動機づけについての考察 |
| 田口 耕三 | 現代モード論 —「モードの終わり」の始まり |
| 田畑 麻衣 | 母乳推進運動の課題 —柔軟な授乳スタイルの選択を求めて— |
| 中橋 美沙 | 宝塚歌劇団ファンの消費形態 —データベース消費の変種をめぐる— |
| 野嶋 雄介 | 想起説の導入状況 —『メノン』におけるプラトンの認識論以前 |
| 長谷川 潤 | 大都市近郊の過疎地域における地域活性化運動について —京都市花背地域広河原地区における地域外とのネットワーキング— |
| 浜田 祥治 | パラダイムシフト —アリストテレスとガリレオの運動論について |
| 柳 平 亮 | 社会の子どもと大人の社会 |
| 山中 彩 | 育児休業期間の変遷と母親保育論 |

- 山本 由布香 「キャラ」コミュニケーションの可能性 —「キャラ」は便利な「ツール」である
 吉川 大樹 祖母を弔う父 —関係性から見る供養—
 吉田 温子 目に対する自傷行為とその背景について

認知情報

- | 氏名 | 題目 |
|--------|---|
| 仙石 祐 | ブログを用いた秘密情報の共有 |
| 居戸 利樹 | 糖尿病における血中 BNP の臨床的意義 |
| 柿田 彩乃 | 音刺激の嗜好性が記憶能力にどのような影響を与えるか |
| 久下 哲寛 | Je t' attendais. 型半過去との比較による「現在に関わる大過去」の機能と位置づけの検討 |
| 佐藤 大誉 | 音楽の記憶構造を探る —旋律の場合— |
| 地蔵 繁範 | Identifying and automatising sound-word connection : Shifting the focus of teachers (音声一語の繋がり発見と自動化 —教師の意識の変化に向けて—) |
| 中川 敦夫 | d 次元 Navier-Stokes 方程式の関数空間 $L^\infty((0, T), (L^d)^d)$ における mild solution の一意性の証明 |
| 原 宏輔 | 人間による「映像言語」の獲得について |
| 二見 隼人 | 転倒防止に効果的な運動処方文献的検証 |
| 伊藤 薫 | 演奏記号に関する認知言語学的考察 |
| 上岸 晶 | 物体フラグメントの種類が物体認識に与える影響 |
| 柿添 康大 | Small cycles Property をもつ Cremer 点をもつ超越関数とその乗数の分布について |
| 笠島 靖夫 | Small Cycle Property を持つ超越関数の Cremer 点 |
| 金澤 悠 | ラクロス競技におけるクロスを用いた走動作の技量レベルによる違い |
| 川口 大士郎 | Effects of exposure to hyperbaric oxygen on oxidative stress in rats with type II collagen-induced arthritis II型コラーゲン誘導関節炎ラットの酸化ストレスに対する高気圧・高濃度酸素の影響 |
| 河野 千尋 | 保険数学と数理ファイナンスについて —Esscher 変換を中心に— |
| 後藤 遥介 | 手と体は繋がっているか ラバーハンド錯覚が体幹の位置知覚に与える影響 |
| 志築 諒太郎 | 日本語の接尾辞「ばい」の認知意味論的分析 |
| 竹田 敦 | 主題提示の「って」 |
| 竹本 博紀 | コンピュータインタフェースについての認知科学研究 |
| 谷口 善紀 | Coupling Between Cardiac and Upper-Limb Exercise Rhythms 上肢運動と心拍リズムのカップリング |
| 種村 一識 | 胃運動機能, 自律神経におけるコーヒーの作用 |
| 中澤 光平 | 音訳漢字における声調の機能と上代日本語の韻律に関する考察 |
| 仲西 博紀 | 気づきをとまなわない視覚刺激が視覚記憶に与える影響 |

| | |
|--------|---|
| 並河 泰 範 | 談話構成におけるメタ言語の役割 |
| 野村 祐一郎 | 視覚的な秘密情報の品質保持を可能とするステガノグラフィ |
| 橋谷 祐 司 | No Free Lunch 定理の証明と考察 |
| 原田 絢 子 | 女性像とそれともなう女性服の変遷 |
| 堀地 修 郎 | ノイズ刺激による力調節能力の向上 |
| 本多 千 夏 | 糖尿病治療における低カロリー甘味料の有用性について |
| 馬越 友 紀 | テニスのサービスにおけるスタンス及びコースの違いがレシーバーの予測に与える影響 |
| 松浦 由 樹 | シンガポール英語の現状と行方 |
| 道越 夕 葵 | 視覚性短期記憶における物体特徴の統合 |

国際文明

| 氏 名 | 題 目 |
|---------|---|
| 多井 一 晃 | 商業演劇について |
| 井上 聡 | 文化的天皇制 |
| 殿村 みすず | 有期労働契約における解雇権濫用法理の類推適用の法文化についての検討 —労働契約法の制定をきっかけとして— |
| 今村 文 香 | 女性の就業条件についての産業比較 |
| 大澤 友里恵 | タイの民主主義を考える |
| 小林 正 和 | 幸福と経済学 —国民生活に関する世論調査を用いた実証研究— |
| 田村 知 英 | 日独伊三国同盟をイギリスはどう評価したか —対日政策に与えた影響 |
| 中川 真梨子 | 観光における「まなざし」の非対称性とオルターナティブ・ツーリズムとしてのスタディツ アー |
| 盛 一 也 | 企業年金の受給者減額について |
| 浅井 航 洋 | 永井荷風の習作における広津柳浪「河内屋」からの影響 |
| 安東 宇 | 貨幣の電子化に関する経済学的考察 |
| 岩木 保 樹 | 当期純利益と包括利益 |
| 植田 裕太佳 | なぜ経済成長が必要なのか |
| 小納 亜 希 | 愛され、結果を出し続ける地域マスコットキャラクターづくりの秘密 |
| 北 口 美 樹 | 就職活動における自己分析と自己 —インターネットを通して |
| 久野 大 樹 | IFRS の受け入れについて |
| 倉持 直 樹 | 文書電子化に対する資源経済学的分析 |
| 小泉 尚 子 | リベラル・デモクラシーの普遍性について —「アジア的価値」論の検討から |
| 斉藤 侑 規 | 日本文化の「日本らしさ」について —現代史からの考察 |
| 佐々木 裕 則 | 歴史的比較から見た大学と教養教育 —総合人間学部を問い直す— |

- 佐藤 健太郎 『海と毒薬』論 ―初期遠藤文学の映画への受容―
- 佐藤 悠 大伴坂上郎女と藤原麻呂の贈答歌群について
- 菅村 昇 占領軍は三教科停止指令を通して、日本人の歴史観・国家観をどのように変えようとしたのか
- 杉原 隆也 モバイルコンテンツビジネスから中国の若年層を洞察する
- 仙波 隆大 中国の大気及び水質汚染に関する省別分析を通じた環境対策制度についての評価と提言
- 武田 真理 シュペングラーとゲッベルス
- 田中 豊生 裁判員制度の意義とその課題
- 堤 佳奈 現代の無常の超克への道 ―唐木 順三の軌跡をたどって
- 堤 博樹 ワーキングプアの現状と対策
- 寺谷 洋樹 育児休業法の課題と展望
- 中島 正博 第二次世界大戦と戦後におけるインテリジェンス機関の発達
- 西田 賢二 『神仙伝』にみる古代中国人の仏教的感性
- 野々山 暢 1970年代、ニクソン政権下において、なぜ日米同盟は危機の時代を迎えたのか
- 花川 真子 稲荷祭に集う都市民と蔵人所
- 花田 祐 投資銀行の資本主義経済における機能についての考察
- 原 佑輔 有機薄膜太陽電池の意義に関する考察
- 平瀬 靖典 卒業延期 今後の日本の雇用体系のあり方
- 松原 淳子 島崎藤村の描いたブラジル移民について
- 松村 実咲 太陽光発電システムと太陽熱利用機器の需要分析
- 百瀬 賢 ベトナム戦争と湾岸戦争にみるアメリカ国内世論の変化とその影響
- 山口 哲郎 テロ対策法制における治安維持と人権 ―イギリス国内法と欧州人権条約との関係―
- 山本 千尋 環境系スタディーツアーの意義と課題
- 吉嶺 一輝 豊臣秀吉の対外観 ―対明、対南蛮観を中心に―
- 渡部 和隆 内村鑑三の信仰と二つのJ
- 渡邊 亮輔 現代マクロ経済学の基本的フレームワークとしての Cass-Koopmans-Ramsey モデルに対する批判的考察

文化環境

- | 氏 名 | 題 目 |
|--------|--|
| 吉田 昌睦 | 日本統治下京城における道路計画 ―鐘路を中心として― |
| 田畑 雅子 | 青年期における友人喪失経験が対人関係に及ぼす影響について |
| 仲西 純一 | 東京における商店街の現状と課題 ―東京都北区の4商店街を事例に― |
| 今川 世詩子 | 長浜における文化的ポテンシャルとしての庭園 ―住民のための町づくりにむけて― |

- 岩 城 悠 実 定期市と地域社会 ー大原ふれあい朝市の事例ー
- 木 部 由紀子 伝統工芸における技術の習得 ー京都の金属工芸の事例からー
- 佐 藤 傑 秋田方言における指小形の機能について
- 鶴 朋 子 ユダヤとイスラームにおける浄穢観 ー穢れと祈りとアイデンティティー
- 福 田 佳 恵 資生堂パーラーに映る大正モダン銀座の発展
- 盛 田 青 葉 シェラレオネの少年兵 ー加害と被害の重層性ー

自然科学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|--|
| 岩 野 さやか | 超好熱古細菌 <i>Thermococcus kodakaraensis</i> の染色体構成タンパク質およびゲノム高次構造に関する研究 |
| 梶 原 伸 吾 | ニトロキシドピラジカル化合物の合成に関する研究 |
| 嶋 田 研志郎 | 別府温泉・小松地獄より分離・培養された単細胞緑藻の多様性 |
| 高 木 孝 介 | ^{87}Rb 原子の磁気光学トラップ |
| 西 村 正 生 | Homogeneous genetic structure against variation of tree architecture of <i>Larix kaempferi</i> : investigation along altitudinal gradients on Mt. Fuji カラマツの均質な遺伝構造と変異を示す樹形：富士山における標高に沿った調査 |
| 箱 川 真 吾 | 超高真空チェンバー内での原子ビーム生成と減速及び Rb 原子集団の蛍光イメージング |
| 東 広 之 | Population fragmentation caused randomly fixed genotype in each population of <i>Arabidopsis kamchatica</i> in the Japanese archipelago 集団の分断化が日本列島のミヤマハタザオの各集団の遺伝子型をランダムに固定した |
| 細 川 由 貴 | PCR-DGGE 法を用いた琵琶湖湖心における植物プランクトン群集構造の解析 |
| 松 崎 良 祐 | 光誘起電子移動反応を利用した二酸化炭素の固定化に関する試み |
| 光 永 誠 | 観測された雷鳴の単純減衰モデルによる考察 |